取扱説明書 保管用

蛍光灯ワイヤー吊りペンダント

（天井付け専用型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　番	適合ランプ	使用電圧／周波数
PF－2746・2748	蛍光ランプ FHF54W×1	AC100V(±6%) 50Hz／60Hz
PF－2747・2749	蛍光ランプ FHF54W×2	AC100V(±6%) 50Hz／60Hz

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

ボルト吊り専用器具です。それ以外の取り付け方はできません。
★器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
○傾斜天井および天井面以外の場所　○補強材の無い場所への取り付け
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け　○凸凹のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠注意

この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラツキなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

【器具構成図】

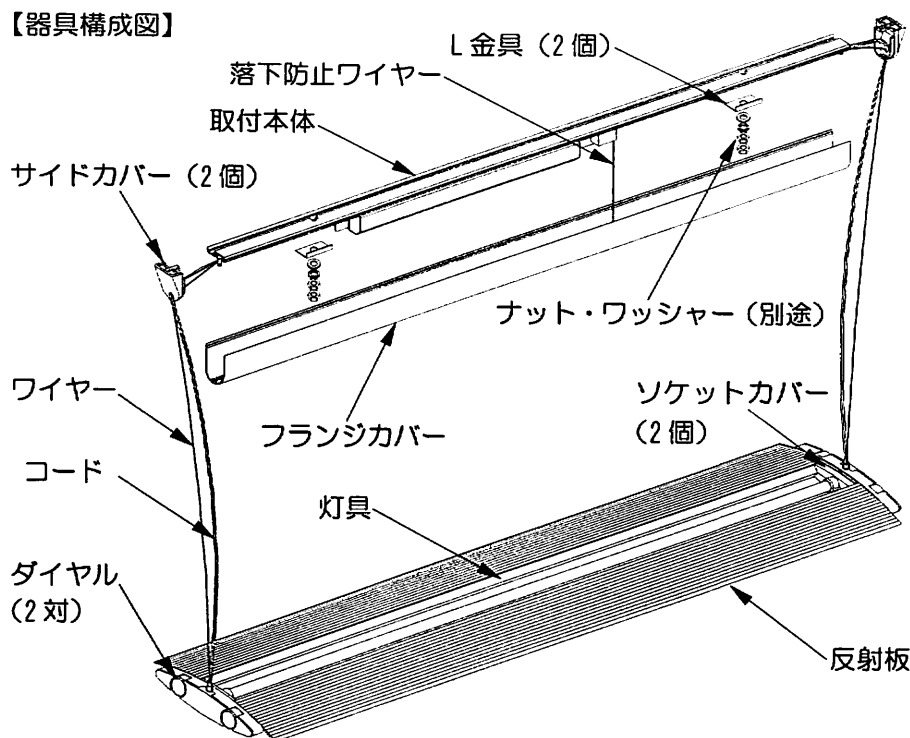
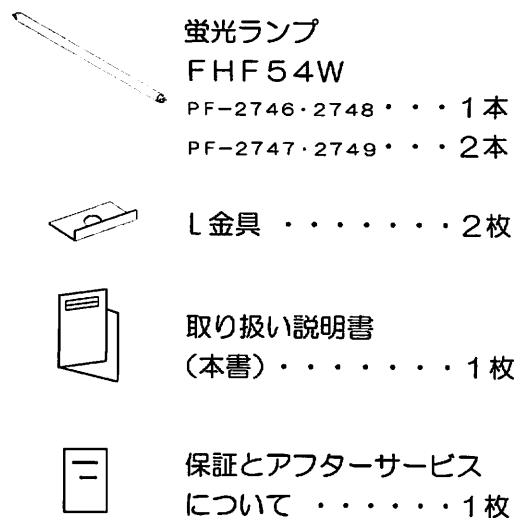
L金具（2個）
落下防止ワイヤー
取付本体
サイドカバー（2個）
ナット・ワッシャー（別途）
ワイヤー
フランジカバー
ソケットカバー（2個）
コード
灯具
ダイヤル（2対）
反射板

【付属品】

蛍光ランプ
FHF54W
PF-2746・2748・・・1本
PF-2747・2749・・・2本

L金具・・・・・・・2枚

取り扱い説明書（本書）・・・・・・・1枚

保証とアフターサービスについて・・・・・・1枚

取り付け場所の確認

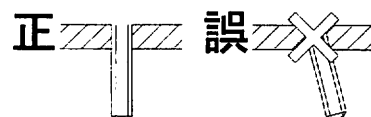
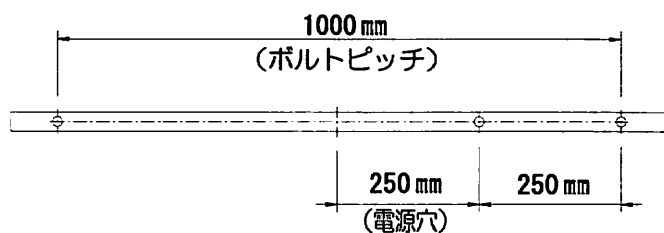
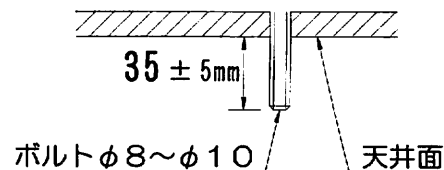
⚠警告❗ 器具の取り付けは、重量の耐える所に説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。

●器具を取り付ける前に

1. 天井切り込み穴および取付ボルト位置を確認してください。

■取り付けボルトピッチと埋込み穴寸法

2. 取付ボルトは必ず垂直に降ろしてください。

正　誤

3. 取付ボルトの長さを調節してください。

取り付け方

⚠注意❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

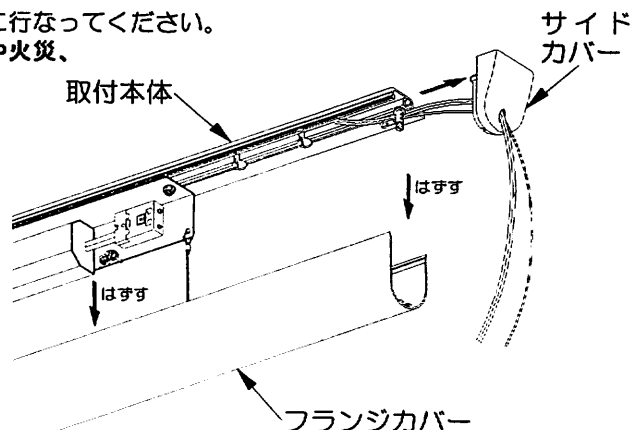
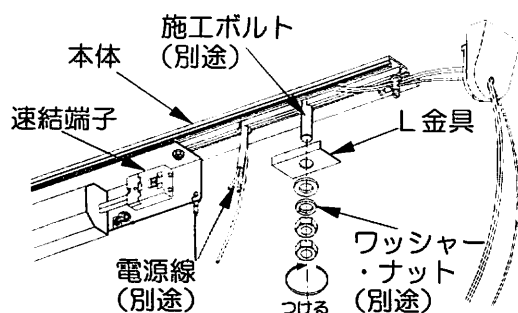
⚠警告❗ 器具の取り付けは、重量の耐える所に説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。

取付時・設置後にコードのみに張力がかからないようにしてください。
★断線による火災、感電事故の原因となります。

●器具を取り付ける前に…

フランジカバーとサイドカバーをはずします。

サイドカバーを引き抜いてから本体取付板よりフランジカバーをはずします。

※フランジカバーは、取付本体に挟み込んであります。
　取りはずしにくい場合は、端から引き離してください。

1．本体を天井に取り付けます。

⚠警告 ●金具類をセットする際に、リード線を挟まらない様に、固定してください。
★火災、感電事故の原因となることがあります。

①電源線を電源穴より器具内に引き込みます。
②取付本体をセット後、L金具・ワッシャー・ナット(別途)で確実に止め、締め込みます。

2．電源線を接続します。

⚠警告

端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線､汚れた芯線の使は、 接触不良による火災や感電事故の原因となります。

①電源線を速結端子のゲージ（14㎜）に合せ剥きます。
②電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、マイナスドライバーにてはずしボタンを押し込みながらはずします。

3．アース線を接続します。

①アース端子及び歯付座金を、ナットを緩めてはずします。
②アース端子にアース線を接続します。
③アース端子及び歯付座金を、ナットを締めて取り付けます。

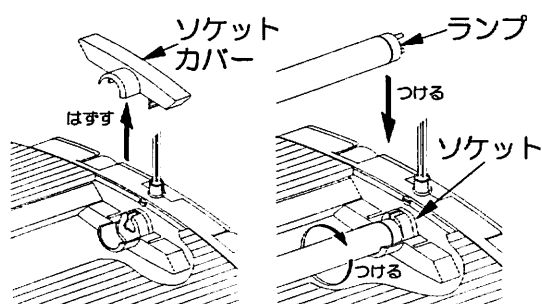
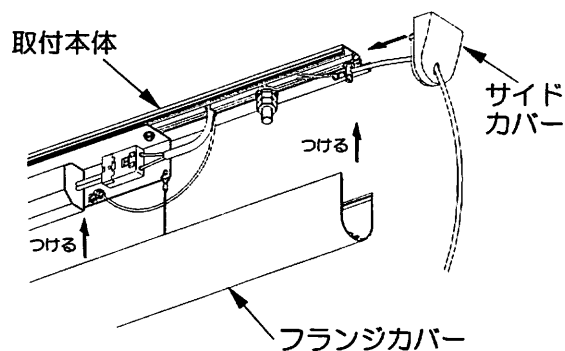
4．フランジカバーをセットします。

⚠警告

セットする際に､リード線やアース線が本体とカバーに挟まらない様に､またカバーの爪と取付本体の凹部としっかりとかみ合うように固定してください。
★カバーの落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

①フランジカバーを取付本体に押し当て、はめこみます。
②サイドカバーを取付本体･フランジカバーの溝にさしこみます。

5．ランプをセットします。

⚠注意 ●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。

①(図5－1)　②(図5－2)　③(図5－3)

①ダイヤルを回して、**上面配光**にしてソケットカバーをはずします。(図5－1)
※上面配光の仕方は、『◆反射板の設定』の項を参照してください。
②ランプのピンをソケットの溝に沿って奥まで入れて、90°まわします。(図5－2)
③ソケットカバーを差しこみます。(図5－3)

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON－OFF」操作を行います。

お手入れについて

⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。 **★火傷の原因となります。**

●濡れた手で触らないでください。 **★感電事故の原因となります。**

●ランプは乱暴に扱わないでください。 **★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**

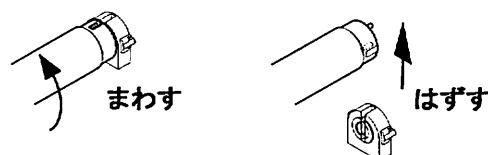
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると、不点灯や点灯不良（チラつきや立ち消えなど）の原因となります。また安定器の異常発熱などによる事故、故障の原因となります。

●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

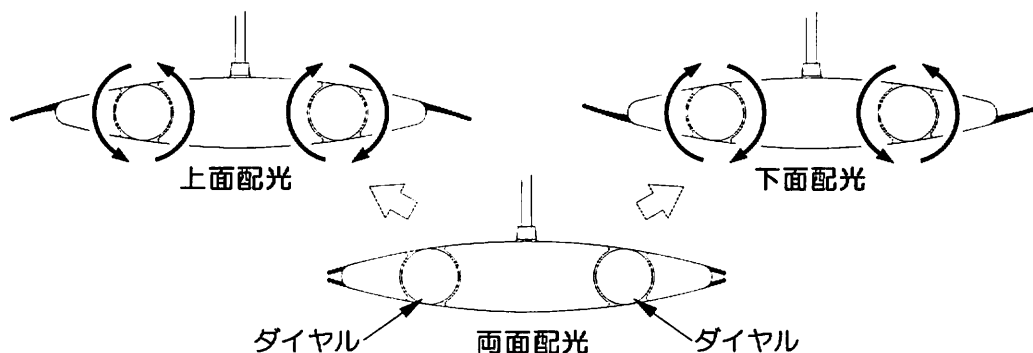
1．スイッチを切ります。

2．ソケットカバーをはずします。
★『●取り付け方』の「5．ランプのセット」の項をご参照ください。

3．ランプをはずします。

ランプを９０度まわし、ソケットからはずします。

4．新しいランプをセットします。
★『●取り付け方』の「5．ランプのセット」の項をご参照ください。

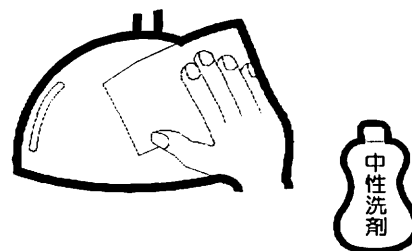
◆反射板の設定

灯具側面についているダイヤルを回すことで反射板が可動します。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。

2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。

3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。

4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。